

種目名	生活	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	東京書籍
-----	----	---------	-----	--------	--	---------	------

発行者 観 点		東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	光村図書	啓林館
1	学習指導要領との関連	・学習指導要領で育成を目指す資質・能力の3つの柱を吹き出しで具体的に例示し、生活科の学びのプロセスが分かりやすい。小單元では本文とマークで資質・能力を明示しており、指導と評価の一体化を目指しやすい。	・「みる」「きく」「かぐ」「さわる」といった諸感覚を活用した活動・体験を重視し、児童の実感を伴った理解に導くよう工夫している。言語感覚を育みながら振り返ることができるよう工夫されている。	・4人のキャラクターのつぶやきや発見カードにより、ストーリー性のある單元構成と児童の願いや気持ちに沿った流れになっており、主体的に活動できるよう効果的に編集されている。	・学習活動と振り返りのページの内容が充実しており、自己決定力と自己肯定感を育むよう工夫されている。健康や安全に心がけるようコラム欄(やくそく)が設けられ、衛生面、安全面、健康な生活への配慮がされている。	・小單元にある「ふりかえろう」では、学んだことを感情と思考・態度の面から振り返り、次の学びに生かすことができるよう工夫されている。單元末の振り返りでは、友達と対話し、さらに自分の言葉で表現するよう編集されている。	・導入「わくわく」・活動「いきいき」・振り返り「ぐんぐん」の3段階構成とし、児童が学習の流れを見通すことができ、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう効果的に編集されている。
2	「愛知の教育の基本理念」との関連	・地域の人との関わりを大切にし、多様な人々と活動する様子が豊富に掲載されている。ふるさとを愛し、多様な人々と協働し豊かな人間性を育むことができるよう工夫されている。安全で健康な生活を営むための資料や知識が充実している。	・自分を高めたり他者のよさを認めたりする学習を取り入れ、自分らしさを大切に、多様な人々の存在を尊重しようとする態度を育むよう工夫されている。関連する部分にSDG s マークが示され、児童が関心をもてるように工夫している。	・対話を通じて他者を思いやる心を育むとともに、問題解決場面を多く取り入れ、自立し生活を豊かにできるような構成となっており、児童の豊かな情操と道徳心を養うことができるよう工夫されている。	・多様な人々と一緒に活動や交流をする場面が設けられており、同じ学校や地域で生活していることに気づくように工夫されている。SDG s を扱った関連ページには、アイコンが設けられ、持続可能な社会への意識を高められるよう工夫されている。	・様々な価値観で考えたり学んだりしているユニークなイラストがあり、児童が多様な価値観に触れながら協働的に学べるよう配慮されている。ICT 機器を効果的に活用し、対話的な学びが活性化されるよう様々な例を掲載している。	・「いきものだいすき」の單元末には、生き物の命にふれる教材を取り入れ、生き物にもかけがえのない命があることに気付くことができるよう工夫されている。SDG s について、低学年でも理解しやすく自分事として捉えることができるよう工夫されている。
3	内容 内容 選択	・身近で取り組みやすい体験活動と表現活動が交互に繰り返され、気づきの質を高め深い	・身近な人々、社会及び自然の中から学習対象を見つけていくことで、児童が自ら対象に	・活動展開が分かりやすく、児童が見通しをもって活動し、さらなる課題に挑戦すること	・生活科の教科目標から子どもから引き出し、たい6つの力をサイコロで示し、小單元ごと	・導入、展開、振り返りで構成され、児童の思いを大切に学習を展開することができ	・「こんなときどうしよう」「学びのヒント」では、基本的な生活習慣や生活技能などの知識

	<p>学びを実現できるよう配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末資料や図鑑、二次元コードコンテンツ等資料が豊富で、それぞれの児童に合った方法で主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・季節の変化による町や人々の様子、行事等が優しいタッチのイラストで描かれており、人々や事象との関わりを考え、多様な活動に結びつけることができるよう配慮されている。 	<p>働きかけ自分の生活をよりよくしていこうとする学びのプロセスが成立するよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビンゴやすごろくゲームなどを取り入れ、児童が興味をもって自然にふれたり活動の振り返りをしたりできるよう工夫されている。 ・いろいろな地域の活動の様子や行事等を例示し、地域や学校の実態に応じて活動が選択できるよう工夫されている。 	<p>ができる内容となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に対して子どもの思いや願いを主にして進めることで、児童自身が自己決定できる学習活動になるよう配慮されている。 ・花や野菜、生き物等の活動例が多く提示されている。また、雪の降る地域と降らない地域への対応や「各地の様子」のように素材が提示されている。学校や地域、子どもの興味に応じて選択できるよう配慮されている。 	<p>に表示することで、育成したい資質・能力が分かるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元導入「わくわくスイッチ」、単元を貫く「はっけんロード」、試行錯誤を促す「かんがえまとめいろ」、振り返りを助ける「ぐんぐんはしご」が設けられ、主体的な学びが展開されるよう工夫されている。 ・地域の慣習や行事に目を向ける活動や資料が掲載されている。また二次元コードコンテンツからも地域の様子を見ることができる。 	<p>るような内容を選択している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習材と児童の写真や吹き出しが効果的に掲載され、児童が活動への思いや願いをもち、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・栽培や飼育活動では多様な例が掲載され、地域や学校に合わせた活動がしやすいよう工夫されている。「保護者の皆様へ」のコーナーでは、保護者の協力や家庭での声かけを仰ぎ、連携することができるよう配慮されている。 	<p>が身に付くよう工夫されている。単元末に「できるかなできたかな」のコーナーを設定し、3つの資質・能力が児童にとって自己評価の視点となるよう配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の中で生まれた児童の気付きや思い、願いが次の活動につながるように「めくりことば」を設定し、活動が途切れず連続していくよう展開を工夫している。 ・町たんけんの単元では、地域で働く様々な人がイラストや写真で示されており、地域の実態に応じて授業が展開できるよう配慮されている。
(2) 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容や発達段階に応じた多様な表現方法を提示したり、ICT機器を適宜活用したりするなど2年間で徐々に活動や表現方法の質が高まるよう配慮されている。 ・活動例をイラストや 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の流れに沿った大単元構成で、発達段階に応じて季節の活動を結びつけることができるよう工夫されている。表情を選んだり書き込んだりする「きもちマーク」を取り入れ、文章表現が難しい1年 	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻では簡単な言葉から文章へ段階的に移行している。また、観察カードの書き方や対象への働きかけの方法を具体的に示し、子どもの多様な発達段階を考慮している。 ・児童の生活に根ざし 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの活動ごとにイラストと言葉で「ヒント」が示され、児童の発達段階に応じて学習ができるよう配慮されている。上巻の単元ごとの表現のページでは話型が示されており、児童が表現しや 	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き1ページで活動内容が構造化されており、学習の流れが分かりやすく示されている。どの小単元にも学び方のヒントが示され、児童が発達段階に応じて見通しをもって学習を進めることがで 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から地域へと活動の場が徐々に広がり、2年間を通した児童の発達段階に応じて資質・能力が育成できるよう配慮されている。 ・季節に沿って単元が構成され、低学年児童

	写真で丁寧に例示しており、活動に取り組みやすい。また、低学年の児童が取り組みやすい活動内容・分量となっている。	生に配慮されている。 ・授業時間内に十分な活動ができるよう構成されている。また各校の実態を踏まえた多様な活動を組み込めるよう配慮されている。	た活動に取り組むことができるようになっており、内容、分量の配分もゆとりをもって活動ができるよう配慮されている。	すくなっている。 ・内容がバランスよく配置され、ゆとりをもって活動ができるよう、内容、分量の配分も適切に配慮されている。	きるよう配慮されている。 ・どの単元も対象と十分に関わる活動が展開できるように、無理のない内容、分量となっている。	が親しみやすい学習活動や学習対象が取り上げられており、内容、分量の配分も適切に配慮されている。
(3) 内容の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・随所に配置されている二次元コードからは「きせつのくらし図かん」「いきものずかん」等豊富な資料を見ることができ発展的に学ぶことができる。 ・「どきどきわくわく1年生」では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や合科的な活動について示し、幼児期での経験や各教科との接続に配慮されている。 ・学年末には、1年間を振り返り、自らの成長について表現することができる単元構成がされている。2年生では、多様な家庭環境に配慮し、自分のことをまとめる活動内容が選択されている。多様なまとめ方の例を提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードで見ることのできる資料が充実しており、教科書の内容を補足し、知識を深めることができる。「はってん」のコーナーでは、児童の興味関心に応じて、上位学年の内容について関連して扱うことができるようになっている。 ・スタートカリキュラムに対応したページや他教科との関連を示した写真、幼保小との連携に関わる活動など、円滑な接続に配慮されている。他教科との関連が深いところには、マークを入れる工夫をしている。 ・子ども自身が学習を進める主人公として自分なりのめあてや振り返りを書き込み自分だ 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末のまとめからさらにやってみたいという意欲を引き出し、学習後も活動が広がるよう工夫されている。「ものしりノート」「ものしり図鑑」では多様な資料が提示され、活動が広がるようになっている。 ・「はじまるよししょうがっこう」では、入学時の不安や心配をあえて取り上げることで安心して学校生活を送れるよう構成されている。他教科で学んだことを表現活動の際に生かして使ってみるなど、学習効果の高まりが相互に作用する構成となっている。 ・巻末の「まなびかたずかん」では、伝え合う手段として、「話す」 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「つたえたいな」では、学習したことを家庭や地域へつなげられるように配慮されている。クイズや作り方、育て方の解説のページが随所に設けられ、補充的・発展的な学習が扱いやすく配列されている。 ・幼児期の学びを生かして学習する姿を「にゅうがくまえからしていたよ」でイラストと写真で効果的にまとめている。巻末「学びのぼけっと」では他教科と関連付ける学習にも配慮されている。 ・活動の振り返りのページでは自分自身の学びについて書き込むことができるようになってきている。感じたことを言葉・絵・動作・劇化・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊資料「ひろがるせいかつじてん」は教科書の関連ページが記載され、補充的に扱うことができる。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をイラストで示し、幼児期の成長を生かしながら学習に取り組むことを目指している。就学前の幼児との交流活動を取り入れ、幼保小の円滑な連携に配慮している。 ・各小単元末の「こんなことはあったかな」や上下巻末「もっとやってみよう」では、生活科で求められる資質・能力が14の観点に整理され、児童が自らの経験を振り返り、日常生活につなげているように構成されて 	<ul style="list-style-type: none"> ・「びっくりずかんLIVE」「がくしゅうずかん(巻末資料)」「デジタルたんけんブック」など資料が豊富で、個々の状況に応じて発展的な学習に生かせるよう工夫されている。単元末の「ひろがるきもち」はこれからの生活に生かすことができるような児童の言葉になっている。 ・「すたあとぶつく」は入学前の生活と学校生活をつなぐ工夫がされている。幼保小の交流活動は、幼児にとっては小学校への期待を高め、小学生にとっては自己肯定感を高められ、互いの学びの場となるよう配慮されている。随所に他教科マークが掲載され、関連を

		し、個に応じた表現を楽しむことができるよう工夫されている。	けの教科書を作っているようなページ構成になっている。	「聞く」「書く」「発表する」などを示し、伝え合い交流する活動について分かりやすく例示している。	I C T機器の活用など多様な方法で伝え合う活動を例示している。	いる。発表・対話・絵・文章・観察カード・手紙・動作化など児童の発達段階や活動内容に対応できるよう多様な表現方法を取り入れている。	分かりやすく示している。 ・言葉、絵、動作、劇化、I C T機器の活用等、多様な表現活動や交流活動が掲載されており、児童が自分自身について表現したくなるよう工夫されている。
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時期に応じて平仮名のみ、片仮名の使用、漢字に全てふりがなをつけるなど理解しやすいものになっている。文節で改行したり分かち書きをしたりして理解しやすい。 ・写真やイラストに吹き出しが多く付けられ、話し合いや気づきが深まるよう工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた漢字を使用するとともに、発達段階に応じて漢字や片仮名にもふりがなをつけ、理解しやすいものになっている。 ・児童の生き生きとした自然な表情の写真が多く掲載され学習意欲が引き出される。原寸大で色彩豊かな朝顔や昆虫の挿絵から興味がわくよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の夏休みまでは平仮名、夏休み以降は配当漢字と片仮名を使用しており、配当漢字には全て振り仮名を付け理解しやすいものになっている。 ・活動の楽しさを伝える写真、親しみやすい4人のキャラクター、分かりやすい吹き出しで児童の活動を引き出す工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた漢字を使用するとともに、配当漢字に振り仮名を付し、理解しやすいものになっている。イ各単元の扉に「わくわくスイッチ」を設け、学習の動機付けをしている。学習活動が分かりやすい写真、イラスト、資料が効果的に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字・片仮名は上巻9月から登場し、当該学年で学習する漢字には全てふりがなを付して無理なく学習できるよう配慮されている。 ・上下巻とも巻頭で3ページにわたる折り込みのイラストページを設け、児童の学びのスタートが楽しく始められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻の前半は平仮名のみ、夏休み以降は片仮名とふりがな付きの配当漢字を使用している。また、下巻ではすべての漢字にふりがなをつけ、児童が学びやすくなっている。 ・視覚的に捉えやすい写真やイラスト、学習活動が深まる資料が利用しやすく取り入れられている 	
5印刷・造本等	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、イラストの色彩は柔らかく落ち着いた印象で、視覚的に見やすく工夫されている。 ・写真やイラストが大きく、見開きページで 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた色調のイラストや写真でまとめられており、低学年であることを配慮した教科書体を採用しユニバーサルデザインフォントにより見やすく工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントで、大きくはっきりした文字を使用し、白色度の高い用紙に非常に鮮明で見やすく印刷されている。 ・教科書に書き込むページでは、利き腕を問 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、正しい字形と大きい文字で、読みやすい。 ・落ちついて学習できるような配色、レイアウトになっており、簡単でかわいらしいマ 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔らかい配色のイラストや写真でまとめられている。文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、見やすく工夫されている。 ・小単元名や振り返り等が定位置に固定さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントが使用されており、落ち着いた学習できるような配色・デザインで、見やすく工夫されている。 ・小単元名や本文、記録カードやめくり言葉 	

	<p>学習の流れが分かるようマークやコラム等が同じ位置に配置されレイアウトにユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>・A4判で、二次元コンテンツの利用により紙面への資料を厳選したり、用紙を自社開発したりするなど軽量化が図られている。開きやすいあじろ綴じで、造本の堅ろうさや体裁は適切である。植物の生長順序を捉えることができる変型判ページは学習効果を高めている。</p>	<p>・児童の意識に寄り添って単元の流れを重視した構成となり、活動への見通しがもちやすい。</p> <p>・表紙は丈夫で汚れにくいUVラミコートを実施している。用紙は目の疲れにくい上質紙を使用している。A4判、あじろ綴じでよく開き、写真や図版をきれいに見ることができ、SDGsや「ようこそあきのテーマパークへ」のページは3ページの折込みで情報量を増やしている。</p>	<p>わず快適に書けるよう配慮されている。文字や写真等の情報量が適切でユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>・A4変形判で子どもの興味関心を喚起する大判化である一方、軽量化に配慮されている。あじろ綴じで開きやすい。表面は汚れにくく丈夫な用紙が使われ、汚れや濡れに強いコーティングとなっている。</p>	<p>ークのアイコンが使用されるなど児童にとって理解しやすい。色覚等の特性も踏まえたユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>・A4判で見やすく、あじろ綴じで丈夫であり、表紙には抗菌加工と汚れに強いコーティングが施され、造本の堅ろうさや体裁は適切である。軽い紙が使用され、重さにも配慮されている。</p>	<p>れ、写真と写真との間を空けたり線で囲んだりして明確に区別できるように配慮するなど、構成のユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>・全体は鉛筆で書き込みやすい紙質となっているが、表紙と別冊資料「ひろがるせいのかまつりょう」「きせつのなかまたち」は撥水コーティングされており、製本は堅牢である。学習内容をすっきりと整理させるために、資料を別冊としている。</p>	<p>等の配置が固定され、展開によって配色を統一するなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>・AB判で、あじろ無線綴じで開きやすく、紙面が見やすくなっている。「すたあとぶっく」は紙面サイズを小寸サイズにし、角を丸く裁断し、児童にとって扱いやすくなっている。上巻表紙は特に丈夫な造りとなり、造本の堅ろうさや体裁は適切である。</p>
--	---	--	--	--	---	---